

## 協賛企業賞

### 気温と戦うペンギンたち

六本木中学校 一年 岩淵二千乃

「ペンギンは空を飛ばない」、ペンギンは鳥のような姿をしているのに、なぜ空を飛ばないのでしょうか。逆に空を飛んだら、世界中が驚くだろう。しかし最近では、地球温暖化で三分の二もの数のペンギンが危険な状況にさらされているそうです。その原因は主に二つあります。

一つ目は、温暖化で気温が上昇して氷が溶け出してしまからです。溶けたことよって、ペンギンたちは生息スペースを失い、生存率も低下してしまいます。

二つ目は、温暖化によって発生する異常気象です。二〇〇八年一月には、南極が五日間にもわたって集中的な豪雨に見舞われました。雨によつてずぶぬれになったペンギンたちの体は、夜中になって気温が氷点下まで下がると、一気に凍りついてしまいます。体温をコントロールするのが未熟な赤ちゃんは、このような、集中的な豪雨によつて凍死してしまう可能性もあるのです。

「コウテイペンギン」や、「アデリーペンギン」などたくさんの種類のペンギンが、南半球には生息しています。もしこのまま温暖化が進行し、気温が上昇すれば、多くのペンギンたちが、死んでしまいます。ペンギンだけではありません、寒いところでは生きられない動物たちのほとんどが、今地球温暖化の危機にさらされているのです。

私は動物が大好きです。特に、ペンギンや白熊など、主に寒い所にいる動物たちが好きです。しかし「地球温暖化になったら死んでしまう」と考えると、地球温暖化の進行は見逃せません。むしろ、見逃してはいけません。

私の身の周りでは、「地球温暖化が進行しても、ただ熱くなるだけだし、熱帯地域にいる動物にとつてはうれしいことではないか」と言っている人がいました。しかし、今の環境が崩れてしまえば、きつと、熱帯地域に住んでいる動物にも、何らかの影響があるのではないかと思えます。たとえば、水が蒸発して水不足になるとか、そのことよつて草木が枯れ、草食動物にも影響があるはずです。

このようなことを止めるためにも、ごみを減らしたり、しっかりとごみを分別したり、ボランティア活動や学校でやっている地域清掃などに率先して取り組もうと思いました。このようなことを一人でも多くしてくれれば、きつと地球温暖化もなくなり、動物も人間も助け合つて生きていけるようになります。そんな未来を夢見ながら、私はこれからもボランティア活動を続けていきます。